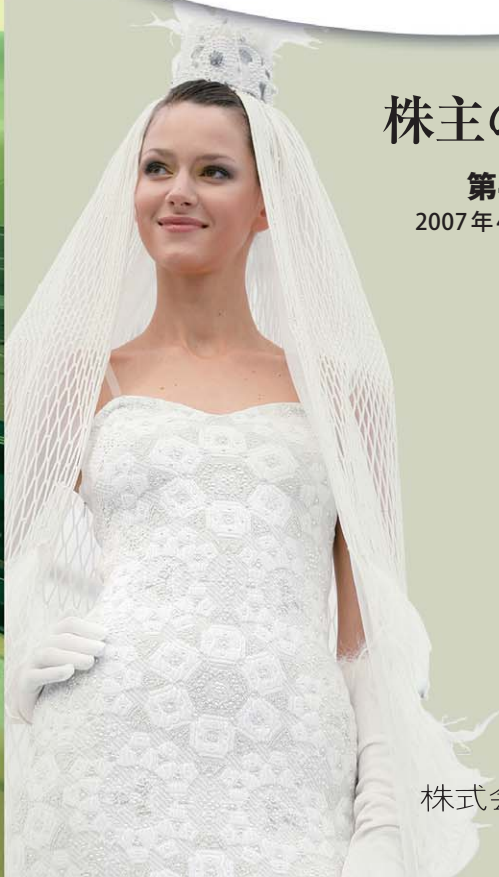


## 株主のみなさまへ

### 第47期 営業のご報告

2007年4月1日～2008年3月31日

企業理念	2
決算ハイライト	3
社長メッセージ	4
営業活動のご報告	7
ホールガーメント戦略	8
トピックス	10
デザインシステム開発史	12
株主優待のご紹介	13
株主の皆様からの声	14
連結財務諸表	16
会社概要	18
株式概要	19



# Ever Onward

—— 限りなき前進 ——

2007年2月、当社は会社創立45周年を迎えました。  
「Ever Onward」の経営理念のもと世界にない新技術を  
開発してきた当社は、これからもユーザー業界にイノベーションを  
起こし続けます。

1962年(昭和37年)、若きエンジニアであった現社長・島正博が、  
「手袋編機の全自動化」という難課題にチャレンジするため、  
和歌山市に興した小さな町工場から当社の歩みが始まりました。  
この世界初への挑戦は、様々な難問を克服しながら3年後に成功。  
当社は衣料用編機の分野では後発であったものの、  
豊かな発想力と情熱により、独自の設計思想で「コンピュータ横編機」の  
開発を成し遂げ、世界のトップランナーに躍り出ました。

さらに1995年、完全無縫製型の「ホールガーメント<sup>®</sup>横編機」を開発。  
ニット業界を、クリエイティブな発想を活かす知識集約型に変革する  
第一歩となりました。

最先端のメカトロニクス技術を応用した編機と、コンピュータ技術を  
駆使したデザインシステム(P12参照)の複合化に加えて、  
それらの製品を活用するためのノウハウを提案することにより、  
当社は業界のモノづくりにイノベーションを起こしてきました。

これからも顧客ニーズを先取りする総合的な技術・サービスの提供を通じて、  
衣の文化を創造し、世界中の人々の心を豊かにすることを目指してまいります。



1965  
全自動手袋編機を開発



1978  
ジャカードコンピュータ  
横編機SNCを開発



1981  
デザインシステム  
SDS<sup>®</sup>-1000を開発



1995  
世界初の無縫製型コンピュータ横編機  
SWG<sup>®</sup>を開発



2000  
All in Oneのコンセプトのもと、  
デザインシステムSDS-ONEを開発



2006  
ワイドゲージ対応横編機  
SSG<sup>®</sup>、SIG<sup>®</sup>シリーズを開発

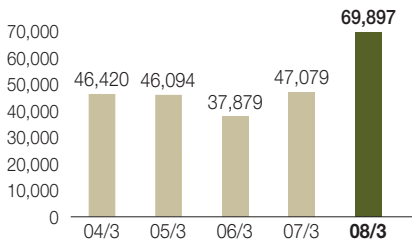
2007  
当社の最新テクノロジーを披露する  
「創立45周年記念イベント」を開催

## 決算ハイライト(連結)

科 目		当 期 2008年3月期	前 期 2007年3月期	前期比
売上高	(百万円)	69,897	47,079	+ 48.5%
営業利益	(百万円)	16,213	7,709	+ 110.3%
経常利益	(百万円)	19,085	9,450	+ 102.0%
当期純利益	(百万円)	9,958	3,113	+ 219.8%
1株当たり当期純利益	(円)	276.13	86.17	+ 220.4%
総資産	(百万円)	133,745	129,161	+ 3.5%
純資産	(百万円)	101,647	92,810	+ 9.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	(%)	10.6	3.4	+ 7.2pt

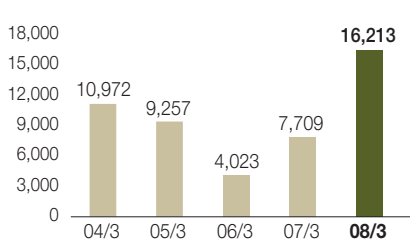
### 売上高

(百万円)



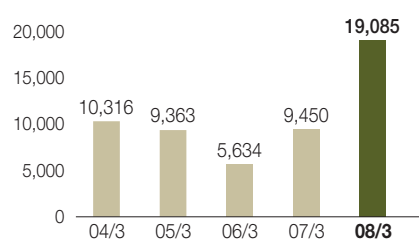
### 営業利益

(百万円)



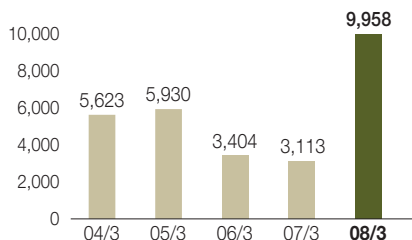
### 経常利益

(百万円)



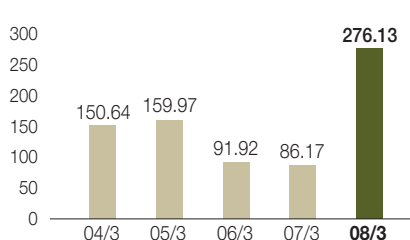
### 当期純利益

(百万円)



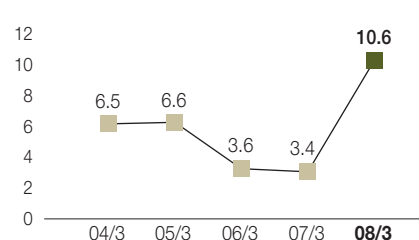
### 1株当たり当期純利益

(円)



### ROE

(%)



ROE(自己資本当期純利益率) =  
当期純利益 ÷ ((期首自己資本 + 期末自己資本) ÷ 2) × 100

#### 将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行なった予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これら予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

第47期業績のご報告と今後の展開

# 大幅な受注増に対応して過去最高の業績を達成。 並行して新機種を積極的に市場へ提案しました。

中国、香港市場での旺盛な需要継続と、世界戦略の順調な進展の結果、当期は売上、利益とも前期を大幅に上回る業績となりました。開発を進めたホールガーメント®横編機の新機種などの展開と併せてご報告いたします。



代表取締役社長  
**島 正博**

**Q** 当期の業績の概要を説明してください。

**A** 好調な需要に応え、業績は大幅に伸張しました。

世界最大のニット製品生産拠点である中国、香港市場では、人件費の高騰から熟練労働者の確保が課題となる中で自動化が進み、コンピュータ横編機の需要は前期を上回りました。

当社は大幅な受注増に対して、横編機「SSG®」「SIG®」に生産機種を集中することで生産性を向上させて対応しました。横編機の年間生産台数は初めて1万台を超え、前期比60%アップを実現。量産効果に伴う原価率の低減により収益性も高まりました。

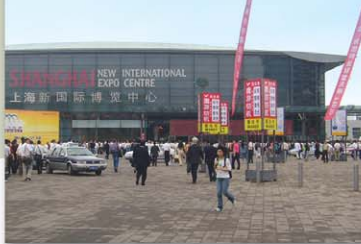
欧州の主要ニット生産国であるイタリアでは、国内への生産回帰の機運が高まり、販売子会社が積極的にフォローしたこともあり売上が回復しました。また、欧州、ロシア向けの輸出が回復しつつある中東のトルコ、さらに韓国などでも、生産体制の効率化により競争力を高めたユーザーの間で、設備更新が進みました。

これらの結果、当期の連結売上高は過去最高の698億97百万円(前期比48.5%増)となり、海外売上高比率も前期の90.9%から94.1%となりました。

利益面では、増産等による売上原価率の低減や、販売子会社が

## 経営課題

1. アジア市場でのシェア拡大と販売管理体制の強化
2. 消費地市場(欧州、米国、日本)でのホールガーメント横編機の浸透・拡販
3. トータルファッションシステムによるアパレル関連業界の活性化
4. 強固な財務体質の構築とリスク管理体制の強化



業績に貢献したことから、営業利益は162億13百万円(前期比110.3%増)、経常利益は190億85百万円(同102.0%増)、当期純利益は99億58百万円(前期比219.8%増)と、いずれも過去最高を更新しました。

**Q 配当について説明してください。**

**A 年間配当金は55円。前期と比べ17円50銭の増配です。**

中間配当金については、前中間期から普通配当を5円増配し、創立45周年記念配当2円50銭を加えた25円で実施しました。期末配当金については、好調な業績を勘案して、普通配当を前期末から10円増配して30円とさせていただきます。これによって年間配当金は、前期から17円50銭の増配となる1株につき55円とさせていただきます。

**Q ホールゲーム横編機の新たな展開は？**

**A 新機種の量産化、新市場への浸透を進めていきます。**

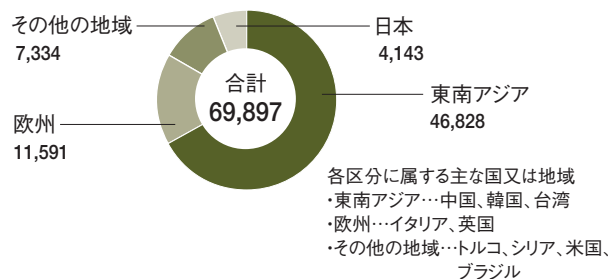
当期、生産性を60%アップさせながら高品位なホールゲームが生産できる新機種の開発を進めました。「ITMA2007」(ドイツ)に出品したこの新鋭機はユーザーから高く評価され、45周年ファッションショーでも製品サンプルとともにその高機能性をご覧いただきました(P8参照)。

ユーザーから量産化が待ち望まれる新機種ですが、高い精度が必要なうえ部品点数も多いため、生産には万全を期し、2008年度下期からの市場への投入を計画しています。

次期は新型ホールゲーム横編機によって“量から質の生産”へと転換して、新たな成長を遂げる時期です。これまで未開拓の中国、香港市場でも、内需向け製品の拡大を狙い、いよいよホールゲーム普及の機は熟したと考えています。

## 地域別売上高 08年3月期(連結)

(百万円)



ホールゲーム横編機はこの新機種投入によって、高品位、高生産性の最上位機から、ファッション小物を得意とするミニタイプまで、フルラインアップ体制で市場に提案することが可能となりました。ここに技術ノウハウを加えることで、市場への浸透にはずみがつくものと確信します。

**Q 直販体制へ切り替えた成果と今後の市場動向は？**

**A ユーザーフォローの強化により業績向上に貢献しました。**

主力市場の中国、香港市場では、現地法人を拠点に、当社主導で技術サポートを強化し、また中国全土へ総合的な販売戦略を展開したことで、大幅な売上増を図ることができました。今後、競争の熾烈化や経済政策の変更など厳しい状況が予想されますが、省力化ニーズは底堅く、ユーザーから高い評価を得ている「SSG」「SIG」を軸に品質・機能面を強みとして競合他社との差別化を図っていきます。

カンボジアやインド、インドネシアなど中国周辺のアジア諸国では、中国、香港市場で生産コストが上昇していることから、今後、ニット製品の生産が活発化するものと考えます。これらの新興地域での営業活動を強化するとともに、中東のトルコでも更新需要を掘り起こしていきます。



欧州市場ではイタリアの現地販売子会社が市場の本格的な回復を図るため、ユーザーフォローを行なった結果、設備更新が拡大しました。同市場では消費地型のモノづくりの提案に加えて、付加価値の高い製品作りが可能な「SIG」への買い換え需要も期待できます。

ホールゲームについては、ハードだけでなくノウハウやデザインを含めた総合的な販売力が必要です。進歩した高度な技術を伝達できる直接販売へと切り替えたことが、業界の今後の発展に好結果をもたらすものと考えています。

## Q 「ニット・ミュージアム」の位置づけと役割は？

### A 業界の歩みと最新技術を紹介する施設として開設しました。

1589年に英国で靴下編機が、1847年にベラ針が発明され、編機の世界は大きく歴史の歯車を進ませました。当社は45年前に手袋編機を足掛かりにこの業界に進出、世界初の数々の製品を生み出してきました。その当社が「ニット業界が発展する中でいかに貢献したか」をさまざまな展示で紹介する「ニット・ミュージアム」を開設しました（P11参照）。これまでは企業内博物館として一般公開はしていませんでしたが、ニット産業の歩みを多くの皆様に自由にご覧いただける施設として充実、オープンしたものです。

現在の技術の到達点としてホールゲームによる新しいビジネスモデルを常時発信し、消費者の心の満足度を高めることも試みています。

さらに、若者や子どもたちにモノづくりに興味を持ってもらい、創造性豊かに育ってほしいという願いも込めています。

## Q 次期の業績見通しを説明してください。

### A 先行き不透明な中、当期以上の業績達成を目指します。

次期の経営環境は、コスト高、米国経済の減速、為替の動向、中国

の経済政策の転換など先行き不透明感が強まっています。当社においては、飛躍的に伸張した当期の業績をベースに、積極的な施策を展開していきます。

ホールゲーム横編機の新機種は、「SSG」、「SIG」の生産とのバランスを図りながら量産化し、双方とも世界の市場・地域に応じた販売戦略を推進します。

2009年3月期の連結業績は、売上高700億円（前期比0.1%増）、営業利益180億円（同11.0%増）、経常利益170億円（同10.9%減）、当期純利益100億円（同0.4%増）を計画しています。

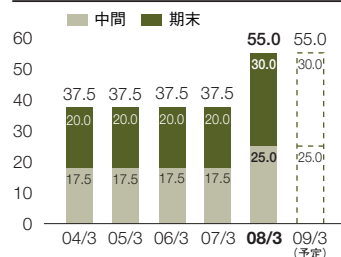
為替対策としては、競争力の高い製品開発、円建取引の増加、為替予約を始めとしたリスクヘッジを積極的に進めることで、急激な為替変動による影響の軽減に努めます。業績見通しの前提となる為替レートは、米ドル100円、ユーロ155円を想定しています。

配当については、需要環境が引き続き堅調に推移していることから、中間配当金は当期に実施した記念配当2円50銭を普通配当に組み入れ1株につき25円、期末配当金は1株につき30円とし、年間配当金は55円を予定しています。

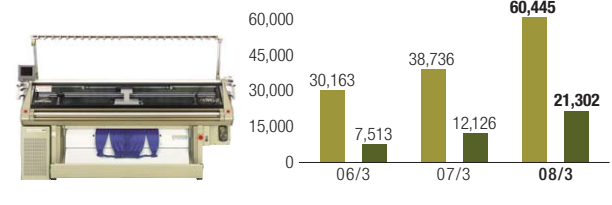
当社は経営指標として、連結ROE（自己資本当期純利益率）を重視し、収益性の向上と新技術の開発を基盤に、継続的に10%以上を達成することを目指しています。当期はこれをクリアしましたが、次期以降もこの達成を目指してまいります。

株主の皆様には、当社事業の安定的な成長にご期待いただくとともに、一層のご支援をお願い申し上げます。

## 1株当たり配当金 (円)



## 横編機事業



当社のコア・ビジネスである横編機事業では、ニット製品輸入が依然として高水準にある国内市場においては前期並みに留まりましたが、海外市場では大幅な売上増加となりました。

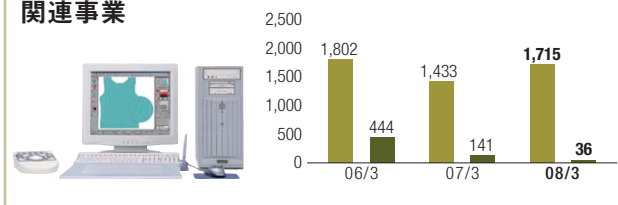
東南アジアでは、主力の中国、香港市場で、人件費高騰と繊維産業における労働力不足などを背景に、手動式横編機からコンピュータ横編機への転換需要が期を通して活発に推移しました。同市場では他社との競合も厳しくなっているものの、主力機種種の「SSG®」「SIG®」シリーズが、高い生産性、操作性、安定した品質で優位性を維持しました。また販売子会社との連携強化により、きめ細かい技術サービスを展開したことでユーザーの満足度を高め、売上の拡大とともに非常に強い引き合い状況が続きました。また韓国やカンボジア、インドなどの周辺のアジア諸国においても設備の更新、増設が進みました。

欧州ではイタリアの主力ユーザーを中心に、ホールガーメント®横編機によるファッション性の高い上質なニット製品生産を進め、独創的な商品企画で競争力を回復したことに加え、販売子会社がユーザーフォローを積極的に推進した結果、設備の入れ換え需要が活発となり、大幅な売上増加となりました。

また、欧州、ロシア市場での中国製ニット製品との競合により、設備投資が停滞していた中東のトルコにおいても製品輸出が回復し、新規設備への買い換え需要が高まったことで売上を伸ばしました。こうした海外市場でのコンピュータ横編機の旺盛な需要に応えるため、当社では過去最高の生産体制で対応しました。

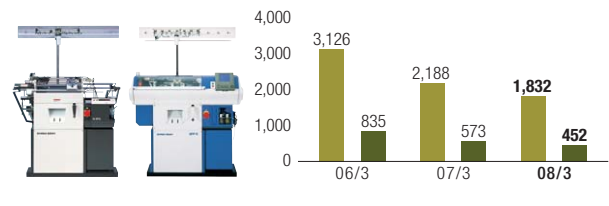
これらの結果、横編機事業全体における売上高は604億45百万円(前期比56.0%増)となりました。

## デザインシステム 関連事業



デザインシステム関連事業では、ニット・アパレル業界におけるトータルソリューションの核となるツールとして「SDS®-ONE」の提案販売を拡大しました。商品企画からデザイン、バーチャル・サンプリング、生産、マーチャндаイジングや小売販売の促進まで必要な機能をAll in Oneで搭載した点を訴求するとともに、アパレルCADと生地自動裁断機「P-CAM」シリーズの組み合わせによる一貫した生産システムの提案販売に傾注した結果、売上高は17億15百万円(前期比19.6%増)となりました。

## 手袋靴下編機事業



手袋靴下編機事業では、アジアの新興国での売上が伸びましたが、主力の韓国市場の売上が減少し、売上高は18億32百万円(前期比16.2%減)となりました。

## その他事業

部品販売事業やニット製品販売事業など、その他事業の売上高は59億3百万円(前期比25.0%増)となりました。

# ホールガーメント®の魅力と機能、先進性を国内外へ、宇宙へアピール



## 海外から多数のゲストを招き、創立45周年記念イベント／ファッションショーを開催

1962年の創立以来、ホールガーメント横編機をはじめとする数々の創造的な製品を送り出してきた当社の最新技術力をアピールする「創立45周年記念イベント」を、2007年11月28日から3日間にわたり本社で開催しました。

当社のオリジナルニットを始め、イタリアの著名デザイナー、サベリオ・パラテラ氏と、日本の有力アパレル4社の作品が発表された「ガーデンファッションショー」では、ニットの概念を打ち破った斬新なコレクションが、国内外から来場された約1,200名のお客様に披露されました。

ホールガーメント横編機、デザインシステムなどの最新機器と400点以上のオリジナルサンプルを展示したトータルデザインセンターでは、3Dシミュレーションが特長の「SDS®-ONE APEX」をデモンストレーション。簡単にスピーディーにホールガーメント製品を仕上げる新しいビジネスモデル (P9参照) が注目を集めました。

当社が提案してきた編機とデザインシステムを一体化させた「トータルニットイングシステム」。その集大成をご覧いただいた今回のイベントは、ニットの魅力と可能性を余すところなく見せつけるものとなりました。

「ボーダーライン」をテーマにしたサベリオ・パラテラ氏のコレクション



20m×40mの特設テントに、紀州材を用いた20mのキャットウォークを設営



### Profile

#### サベリオ・パラテラ氏

パリでデザインを学び、1980年代前半からさまざまなブランドとのコラボレーションでキャリアを築く。自身の高級ニットブランド「Saverio Palatella」は欧米、日本などで発売。当社とは2007年からデザイナー契約を結ぶ。



Saverio Palatella



10月に「緑化優良工場等経済産業大臣賞」を受賞した本社緑地で開催





提供 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



## 宇宙船内の日常服として ホールガーメントが活躍

2008年3月27日、日本初の有人宇宙施設「きぼう」設置の1次任務を終えて、宇宙飛行士・土井隆雄さんが帰還しました。土井さんが地球との交信時をはじめ、宇宙船内で着用していたのが、ホールガーメントでした。

ホールガーメントは、縫いしろがないため重力の影響による体形変化に対応できるうえに、着心地もよく動きやすいことから、宇宙空間での生活に最適なものとして採用されたものです。

宇宙でも活躍可能な高性能衣類のノウハウを活かして、今後は医療分野など多様な領域での展開が期待されます。



ホールガーメントによる  
宇宙船内服

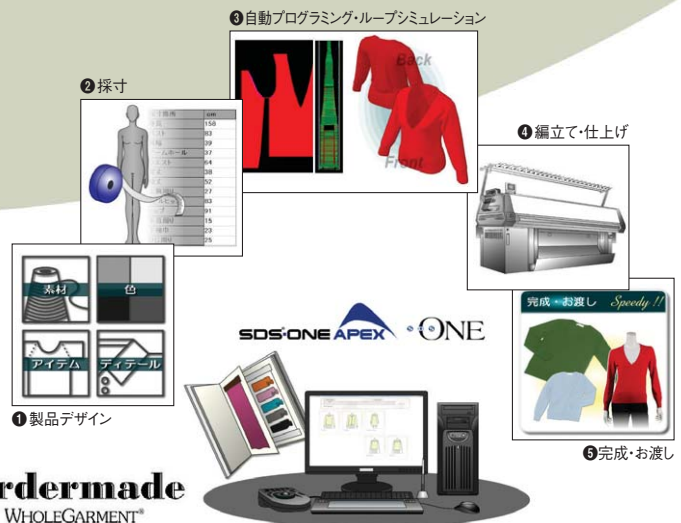


## オーダーメイドのニット製品が 店頭で作成できるビジネスモデルを提案

当社は、新デザインシステム「SDS-ONE APEX」に連動したソフト「Ordermade」により、消費者のニーズに合った上質なホールガーメントを店頭で簡単かつスピーディーに受注できる新しいビジネスモデルを開発し、提案を開始しました。

これは当社の膨大な編成値やノウハウをデータベースに開発したもので、企画から製品完成までの作業時間を従来の30分の1と、劇的に短縮することが可能となりました。

店頭でのオーダービジネスを確立することで、ホールガーメントの浸透が加速するものと確信しています。

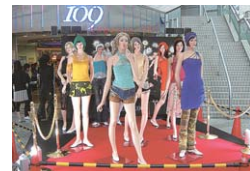


# 2008年3月期の取り組み

## 第47期

### 2007年

- 5月 25日 **展示会** 「フリンジャレンジ2007」を開催【東京・渋谷】 ①
- 6月 1日 **展示会** 第13回上海国際紡織工業展(上海テックス)に出展  
28日 **組織** 第46回定時株主総会を開催
- 7月 15日 **放映** BS朝日「be ON AIR!」に社長の島が出演  
18日 **展示会** 「ホールガーメント®コレクション展」を開催【ニューヨーク】 ②  
24日 **組織** 島精栄榮(上海)貿易有限公司を設立
- 9月 5日 **展示会** 第10回上海国際流行紗線展示会(スピンエキスポ)に出展  
13日 **展示会** 国際繊維機械見本市(ITMA2007)に出展【ドイツ・ミュンヘン】 ③
- 10月 1日 **受賞** 「緑化優良工場等表彰 経済産業大臣賞」を受賞 ④
- 11月 7日 **ファイナンス** 大証J-NET市場において自己株式を取得(700,000株)  
28日 **展示会** 創立45周年記念イベントを開催



①



②



③



④

### 2008年

- 2月 1日 **組織** SHIMA SEIKI KOREA INC.の営業を開始  
1日 **放映** 日本テレビ系列「未来創造堂」で当社紹介  
1日 **展示会** 第42回大阪ミシンショー&ハンズフェスティバルに出展  
21日 **ファイナンス** 大証J-NET市場において自己株式を取得(150,000株)  
27日 **展示会** 第11回上海国際流行紗線展示会(スピンエキスポ)に出展
- 3月 7日 **組織** 東洋紡糸工業(株)との事業譲渡契約の締結を発表 ➡次ページ参照  
11日 **トピックス** ホールガーメントが宇宙船内用日常服に採用され、宇宙へ飛び立つ  
28日 **出荷** SDS®-ONE APEXを初出荷 ⑤  
31日 **組織** ニット・ミュージアムをオープン ➡次ページ参照

## 第48期(予定を含む)

- 4月 1日 **組織** 太田営業所を開設【群馬県】  
5月 1日 **出荷** コンピュータ横編機、1978年以来、出荷10万台を達成  
7月 27日 **展示会** ITMA ASIA + CITME 2008に出展



⑤

## ➡ 開発史の展示とモノづくりの心を伝える 「ニット・ミュージアム」をオープン

2008年3月31日、当社の技術開発の歴史とともに、最新の情報を発信する「ニット・ミュージアム」が和歌山市街地の複合商業施設・フォルテワジマにオープンしました。

館内には、時代を象徴する歴代の編機などの展示のほか、ホールガーメント横編機の実演や、最新のデザインシステムを駆使した映像をご覧いただける世界最高レベルの高画質ハイビジョンシアターを併設しています。

また未来を担う子どもたちにモノづくりの心を伝え、知的探究心を養ってもらうことも狙いとしています。

和歌山にお越しの皆様には、ぜひご覧いただければと願っています。



## ➡ カシミアニット糸の 国内トップメーカーを子会社化

当社は2008年4月、高級カシミアニット糸の国内トップメーカー「東洋紡糸工業株式会社」とその子会社2社から一部の事業を譲り受け、当社100%出資の新会社「東洋紡糸工業株式会社」を設立しました。

1879年創業の旧東洋紡糸工業は、100年以上に及ぶ糸づくりの経験があり、卓越した染色技術による高級極細のカシミア糸の国内トップメーカーであるため、付加価値の高いホールガーメントに適した糸の開発などシナジー効果が大い

に期待できます。さらに、多品種少量、クイックレスポンス生産を進める国内ニット業界の活性化に、高級カシミア糸の安定供給は必須であると判断し、紡績事業の譲受けに至りました。



# 45th Anniversary

## デザインシステム開発史

創立45周年を迎えた当社の歩みは、さまざまな開発史に彩られています。  
前号の「全自動手袋編機」に続き、デザインシステムの進化をご紹介します。

### 「ハード、ソフト、ノウハウ」を一体化させた開発を推進

大量生産・大量消費の経済が陰りを見せた1970年代前半、島正博（現社長）は「これからのニット生産は個性化、多品種少量の時代に移行する」と見通し、コンピュータ横編機の開発に着手しました。同時に消費者が求める多彩なファッションを形にするには、横編機と連動して自在なデザインができるツールとノウハウの提供が不可欠と考え、デザインシステムの自社開発に乗り出しました。

編みデータの入力方式に紙テープを選択した当社は、1978年、その入力時間を大幅に短縮できる「テープメイキングシステム」を開発。その3年後には、色の3原色（RGB）とニットの基本要素が3つであるという共通点に着目し、コンピュータグラフィックス（CG）を採用、画面でイメージが表現可能なデザインシステム「SDS<sup>®</sup>-1000」を誕生させ、柄組みやサンプル作成が素早く効率的にできるシステムを実現していきました。

1978



テープメイキングシステム



オペレーションの様子

1981



SDS-1000

1995



NHK大河ドラマ「八代将軍吉宗」に使用



2000



SDS-ONE

2008



SDS-ONE APEX

### 時代を先取りして進化し続けるデザインシステム

1980年代から90年代にかけて当社は、高速処理、3次元、ハイビジョン対応など、さまざまなコンピュータ技術を蓄積しました。CGという言葉がまだ浸透していなかった時代に、いち早く印刷や自動車など多様な工業デザインに当社のCGシステムが採用されたことや、NHKの「驚異の小宇宙・人体」（1988年）や大河ドラマ「八代将軍吉宗」（1995年）などの映像制作に使用されたこともその一例です。

こうした技術を活用しながら、その後の当社のデザインシステムは、ニットファッションの川上から川下までを統合して魅力的なモノづくりを支援する「SDS-ONE」（2000年）、先端技術の粋を集め劇的に高度化した操作性で3次元CGが表現できる「SDS-ONE APEX」（2008年）へと進化し続けています。

## 株主優待のご紹介

当社は、毎年3月末日と9月末日を基準日として、単元株主様への株主優待を実施しています。

2008年3月期のご優待品はホールガーメント®製品をはじめ、ご所有の株式数に応じてお選びいただけるようにいたしました。

今後も当社は、株主の皆様にお喜びいただけるご優待品をお届けいたします。

※ご優待対象の株主様には、6月中旬頃、ゆうメール(冊子小包)にて「株主優待のご案内」をお送りしております。詳しくはそちらをご覧ください。なお、品物の発送は10月頃を予定しております。

### お寄せいただいた株主の皆様の声より

- ホールガーメントのソックレット、重宝しています。今後も期待しております。(50代女性)
- 上場時から貴社の株を保有しており、いつも色々な物を頂き嬉しく思います。応援しています。これからも頑張ってください。(40代女性)
- 毎年何が来るかなど楽しみにしています。特にホールガーメントのセーターは軽くて暖かいので、気に入っています。(70代女性)

### 3,000株以上

①②③のいずれか1点をお届け

①メンズ・ジャケットカーディガン



②レディース・カーディガン&マフラー



③紀州・南高梅のこだわりセット



### 1,000株以上

①②③のいずれか1点をお届け

①メンズ・コーディネートセット



②レディース・コーディネートセット



③紀州・南高梅のこだわりセット

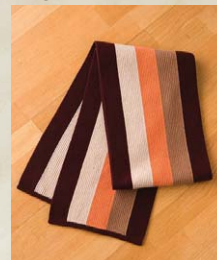


3,000株以上とは詰め合わせの内容が異なります。

### 100株以上

①②のいずれか1点をお届け

①メンズ・マフラー



②レディース・手袋



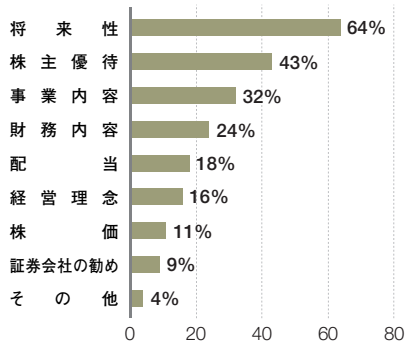
# アンケート結果のご報告

第47期中間期「株主のみなさまへ」(2007年9月期)においてアンケートを実施しましたところ、約2,000名の株主様からご回答をいただきました(回答率15.6%)。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見を真摯に受け止め、引き続きIR活動の充実に努める所存です。今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

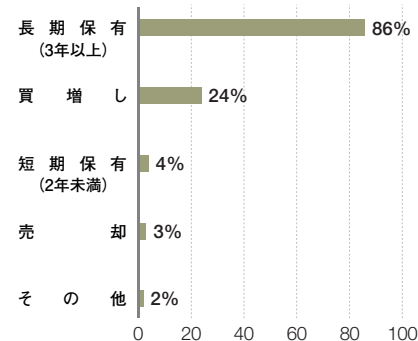
## 1 当社の株式を購入された理由は何ですか?

(複数回答)



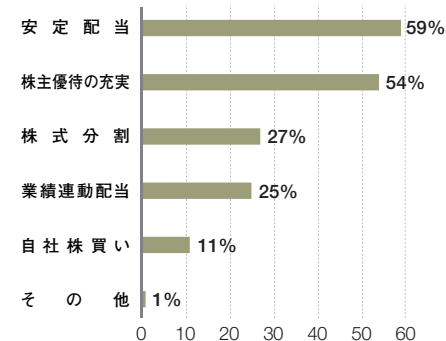
## 2 当社の株式について今後どのようにお考えですか?

(複数回答)



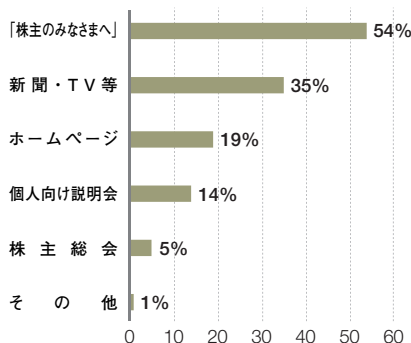
## 3 株主還元に関して当社に期待されることは何ですか?

(複数回答)

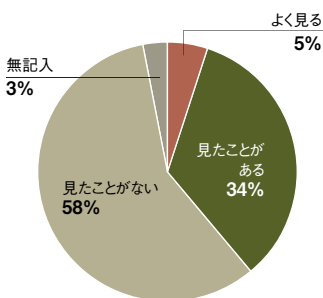


## 4 会社情報を提供する手段として当社が今後充実すべきなのは?

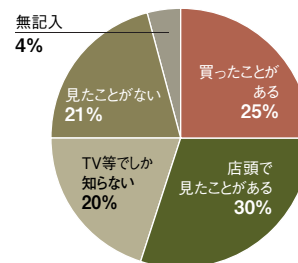
(複数回答)



## 5 ホームページのIR情報をご覧になったことがありますか?



## 6 当社の編織で作られるホールガーメント®について





# IR担当者が株主様のご質問にお答えします

**Q** ホールガーメントの技術は、セーター以外の分野にも利用できないのでしょうか？

**A** **セーターライクなモノづくりを超えた製品提案を進めています**

製品分野の広がりは横編機の拡販につながるものであり、ホールガーメントの特長を活かした提案を展開しています。

セーターなどの従来分野だけではなく、ワンピースやスポーツウェア、ネクタイや帽子、靴下といった小物、医療・ユニバーサルデザインの方分野やカーシートなど産業資材分野でも提案し、採用が進んでいます。また、織物中心であったフォーマルドレスをニットで作成するなど、さまざまな成果を上げています。

**Q** 利益を社会に還元していく取り組みについて、どのように考えていますか？

**A** **事業活動そのものを通じて社会貢献を果たしてまいります**

当社は事業活動そのものを通じた社会貢献が重要であると考え、とりわけ環境保全に配慮した取り組みを推進しています。

設備面では、大規模な太陽光発電システムの導入や工場緑化などがその一例です。また、当社が開発したホールガーメント横編機では一着丸ごと編めるため、後工程で裁断や縫製が必要となる編機と比べてカットロスが削減でき、そのロスを焼却するエネルギーも不要となり、CO<sub>2</sub>の排出を抑制します。



**Q** 45周年イベントのようなファッションショーを見たいが、一般には公開していないのでしょうか？

**A** **業界向けのイベントであり、申し訳ございませんが、一般の皆様には公開しておりません**

ファッションショーは、国内外の主要なアパレル、ニットメーカーなどのお取引先様を中心に招待し、開催しました。単にショーを見ていただくことが目的ではなく、ホールガーメント横編機によるモノづくりのあり方やホールガーメントそのものをアピールする最良の手段として、業界向けにサンプル展示や各種提案を実施したものです。

そのため、大変申し訳ございませんが、株主様や一般の方々への公開はしておりませんのでご理解願います。

**Q** 長期保有株主の存在をどのように考えていますか？

**A** **最も重要な株主様であり、今後、何らかの形で報いたく考えております**

当社は利益配分に対する基本方針において、長期にわたる安定配当の継続を掲げています。キャピタルゲインが目的ではなく、会社の所有者としての意識のもと、長期間、株式を保有いただく株主様が最も重要であると考えます。

今後も、長期保有いただいている株主様には報いていきたいと考えております。

**Q** 株主優待品のソックレットがとても良かったが百貨店などでも販売しているのでしょうか？

**A** **店頭で購入いただけるように今後、働きかけていきたいと考えています**

株主優待品のニット製品は、特別に企画・生産したオリジナル優待品であり、一般には販売されておりません。

ウォームソックレットは大変ご好評で、多数の株主様から同様のお問い合わせをいただきました。今後は店頭で販売できるように、提案や働きかけをしたいと考えております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>86,918</b>	<b>81,239</b>
現金及び預金	23,068	15,212
受取手形及び売掛金	41,204	43,706
その他	24,870	24,646
貸倒引当金	△ 2,226	△ 2,325
<b>固定資産</b>	<b>46,827</b>	<b>47,921</b>
有形固定資産	22,859	21,500
土地	10,491	10,668
その他	12,368	10,831
無形固定資産	9,210	10,921
のれん	9,066	10,767
その他	144	154
投資その他の資産	14,757	15,499
投資有価証券	7,513	9,579
その他	9,460	7,018
貸倒引当金	△ 2,216	△ 1,098
<b>1 資産合計</b>	<b>133,745</b>	<b>129,161</b>

**POINT 1** 資産合計

現金及び預金の増加(78億56百万円)、受取手形及び売掛金の減少(25億2百万円)、投資有価証券の減少(20億65百万円)等により、総資産は前年同期に比べて45億84百万円増加しました。

**POINT 2** 新株予約権付社債

2006年11月に発行した新株予約権付社債(額面金額総額100億円)の残高は29億9百万円となりました。

科 目	当期	前期
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
<b>流動負債</b>	<b>23,367</b>	<b>20,509</b>
支払手形及び買掛金	9,773	7,481
その他	13,593	13,028
<b>固定負債</b>	<b>8,731</b>	<b>15,841</b>
<b>2 新株予約権付社債</b>	<b>2,909</b>	<b>10,045</b>
その他	5,821	5,795
<b>負債合計</b>	<b>32,098</b>	<b>36,351</b>
<b>株主資本</b>	<b>106,857</b>	<b>96,301</b>
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	22,396	21,724
利益剰余金	74,924	66,713
自己株式	△ 5,322	△ 6,995
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 9,003</b>	<b>△ 6,986</b>
その他有価証券評価差額金	△ 572	269
土地再評価差額金	△ 7,392	△ 7,518
為替換算調整勘定	△ 1,038	262
<b>少数株主持分</b>	<b>3,792</b>	<b>3,494</b>
<b>純資産合計</b>	<b>101,647</b>	<b>92,810</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>133,745</b>	<b>129,161</b>

**POINT 3** 連結損益計算書

売上高及び各利益はいずれも過去最高を記録しました。

**POINT 4** 売上高

世界最大のニット製品生産拠点である中国、香港市場におけるコンピュータ横編機の旺盛な需要に支えられ、売上高は大きく伸張しました。

**POINT 5** 売上総利益

売上高の大幅な増加に加え、増産に伴う売上原価率の改善等により、売上総利益は357億66百万円となりました。



### 3 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
4 売上高	69,897	47,079
売上原価	34,131	25,013
5 売上総利益	35,766	22,066
販売費及び一般管理費	19,552	14,357
営業利益	16,213	7,709
営業外収益	3,166	2,039
営業外費用	294	297
6 経常利益	19,085	9,450
特別利益	—	1,607
特別損失	918	4,874
税金等調整前当期純利益	18,167	6,182
法人税・住民税及び事業税	8,488	3,381
法人税等調整額	△ 1,151	△ 615
少数株主利益	871	302
7 当期純利益	9,958	3,113

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
8 営業活動による キャッシュ・フロー	21,747	10,691
9 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,321	△ 16,222
10 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 10,883	12,225
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 853	149
現金及び現金同等物の 増加額	6,689	6,843
現金及び現金同等物の 期首残高	15,954	9,110
現金及び現金同等物の 期末残高	22,643	15,954

### 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その 他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	14,859	21,724	66,713	△ 6,995	96,301	269	△ 7,518	262	△ 6,986	3,494	92,810
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,622		△ 1,622						△ 1,622
当期純利益			9,958		9,958						9,958
自己株式の取得				△ 4,784	△ 4,784						△ 4,784
自己株式の処分		672		6,456	7,129						7,129
土地再評価差額金の取崩			△ 125		△ 125						△ 125
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 841	125	△ 1,300	△ 2,016	297	△ 1,718
連結会計年度中の変動額合計	—	672	8,210	1,672	10,556	△ 841	125	△ 1,300	△ 2,016	297	8,837
2008年3月31日残高	14,859	22,396	74,924	△ 5,322	106,857	△ 572	△ 7,392	△ 1,038	△ 9,003	3,792	101,647

#### POINT 6 経常利益

受取利息の増加や為替差益の発生により経常利益は190億85百万円となりました。

#### POINT 7 当期純利益

海外市場における事業再編に伴う特別損失を計上した前期と比較して大幅な増加となりました。

#### POINT 8 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の大幅な増加や、減価償却費、仕入債務の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは217億47百万円となりました。

#### POINT 9 投資活動によるキャッシュ・フロー

事業の譲受けを実施した前期と比較して、投資活動で支出した資金は大きく減少しました。

#### POINT 10 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得や短期借入金の返済等により、財務活動で支出した資金は108億83百万円となりました。

(注) 詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## ■ 会社概要 (2008年3月31日現在)

商号 株式会社島精機製作所  
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.  
 本社 和歌山市坂田85番地  
 創立 1962年2月4日  
 資本金 148億5,980万円  
 従業員 1,086名(連結1,680名)  
 事業内容 コンピュータ横編機  
 コンピュータデザインシステム  
 アパレルCAD/CAMシステム  
 手袋編機、靴下編機

## ■ 事業所 (2008年6月27日現在)

本社 和歌山市坂田85番地  
 支店 東京支店 (東京都中央区)  
 大阪支店 (大阪市北区)  
 名古屋支店 (名古屋市中区)  
 泉州支店 (大阪府泉大津市)  
 営業所 山形営業所 (山形県山形市)  
 福島営業所 (福島県伊達市)  
 新潟営業所 (新潟県五泉市)  
 太田営業所 (群馬県太田市)  
 甲府営業所 (山梨県中巨摩郡昭和町)  
 四国営業所 (香川県東かがわ市)  
 海外支店 台北支店 (台北市)

## ■ 役員 (2008年6月27日現在)

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	島 正博	
専務取締役	田中 雅夫	総務部、内部監査室担当兼経理部長
常務取締役	岩倉 煌一	営業部担当兼経営管理部長
常務取締役	島 三博	知的財産部、 トータルデザインセンター担当兼 グラフィックシステム開発部長
取締役	京谷 実	システム生産技術部担当兼 生産技術部長
取締役	森田 敏明	資材部長
取締役	和田 隆	製造技術部長
取締役	片桐 正二郎	物流部担当兼企画部長
取締役	梅田 郁人	輸出部長兼島精榮有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務部長
取締役	有北 礼治	制御システム開発部担当兼 メカトロ開発部長
常勤監査役	大川 修	
常勤監査役	冲殿 俊幸	
監査役	的場 悠紀	弁護士
監査役	八杉 昌利	税理士

(注) 監査役 的場悠紀、八杉昌利の両氏は、社外監査役であります。

## ■ 連結子会社 (2008年3月31日現在)

株式会社シマファインプレス (和歌山県和歌山市)  
 株式会社ニットマック (和歌山県和歌山市)  
 ティーエスエム工業株式会社 (和歌山県和歌山市)  
 株式会社海南精密 (和歌山県海南市)  
 株式会社ツカダシマセイキ (群馬県太田市)  
 株式会社マーキーズ (和歌山県和歌山市)  
 SHIMA SEIKI EUROPE LTD. (イギリス)  
 SHIMA SEIKI U.S.A. INC. (アメリカ)  
 島精榮有限公司 (中国・香港)  
 (SHIMA SEIKI WIN LTD.)  
 SHIMA - ORSI S.p.A. (イタリア)  
 NOVA KNITS INC. (アメリカ)  
 島精榮(上海)貿易有限公司 (中国)  
 (SHIMA SEIKI WINWIN SHANGHAI LTD.)

## 株式概要

### 株式の状況 (2008年3月31日現在)

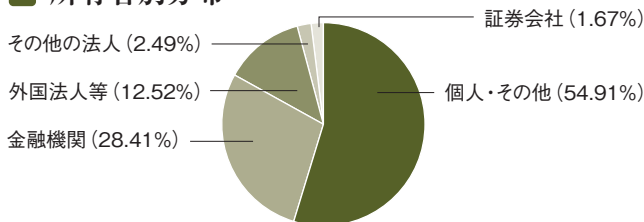
- ① 発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ② 発行済株式の総数…………… 37,600,000株
- ③ 当期末株主数…………… 14,093名
- ④ 大株主

(千株未満切捨て)

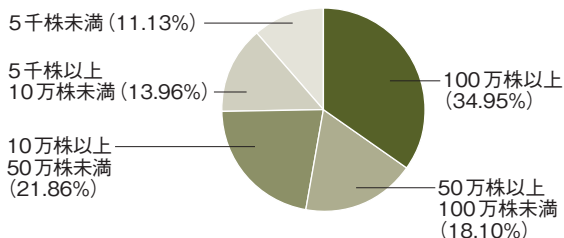
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
島 正 博	4,750	13.00
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,424	6.63
島 三 博	1,875	5.13
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,816	4.97
株式会社紀陽銀行	1,220	3.34
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.41
シマセイキ社員持株会	863	2.36
島 節 子	726	1.99
和島興産株式会社	720	1.97
後藤ひろみ	697	1.91

(注) 当社は、自己株式1,052千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
出資比率は、自己株式を控除して算出しております。

### 所有者別分布

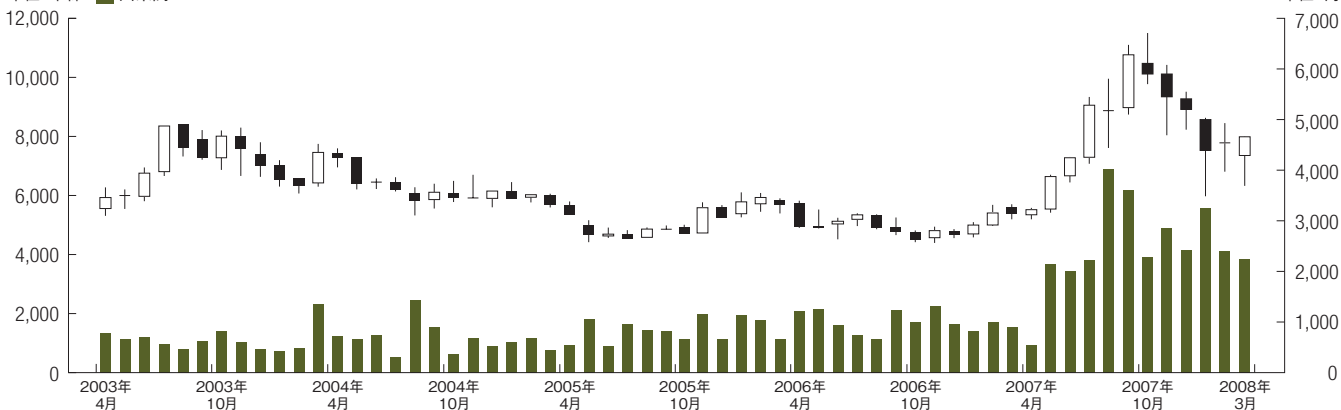


### 所有数別分布



### 株価と出来高の推移 (過去5年間)

単位：千株 ■ 出来高



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日  
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告  
下記当社ホームページに掲載  
(<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(フリーダイヤル) 0120-094-777

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(フリーダイヤル) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地  
TEL (073) 471-0511 (代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SDS、SSG、SIG、SWG およびホールゲームメントは  
株式会社島精機製作所の登録商標です。

ホームページのIR情報「株主・投資家のみなさまへ」の中に当社についてわかりやすく説明した新コーナーをオープンしました。

個人投資家の皆様へ、当社をさらに理解していただくため、IR情報ページ内に『5 Click! シマセイキ』と『「ニット」って何?』をオープンしました。

『5 Click! シマセイキ』では、数々の世界初を生み出してきた当社の「強み」を5回のクリックでわかりやすく説明しました。

また、『「ニット」って何?』では意外と知らない「ニットの特長とそこで活躍する当社」についてご紹介しています。

ぜひ一度ご覧ください。



5 Click! シマセイキ

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/5click/index.html>



「ニット」って何?

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/company/knit.html>